

# 事務事業評価シート

評価実施年度：平成30年度

上位の施策名称 施策Ⅱ-1-2  
消防防災対策の推進

## 1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長

地域福祉課長 三谷 耕司

電話番号

0852-22-5349

|         |   |  |
|---------|---|--|
| 事務事業の名称 | 災害福祉広域支援ネットワーク体制整備事業  |  |
| 目的      | (1) 対象  | 災害発生時に福祉的支援の配慮が必要な県民   |
|         | (2) 意図  | 災害時に要配慮者に対して緊急的な支援が適切に行えるよう、県をはじめとする関係機関・団体等の広域的な福祉支援ネットワークの構築及び連携を図る。 |
| 事業概要    | 災害発生時に避難所等で福祉的支援活動を行う福祉専門職を派遣するために、関係機関・団体によるネットワークの運営、救援体制の整備に取り組んでいる島根県社会福祉協議会に対して補助する。 |  |

## 2. 成果参考指標

| 成果参考指標名等 |      | 年度                     | 27年度  | 28年度  | 29年度  | 30年度  | 31年度  | 単位    |    |
|----------|------|------------------------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|----|
| 1        | 指標名  | 災害福祉広域支援ネットワークへの登録者数   | 目標値   |       | 270.0 | 300.0 | 330.0 | 360.0 | 団体 |
|          | 式・定義 | 災害福祉広域支援ネットワークへの登録者の実数 | 取組目標値 |       |       |       |       |       |    |
|          |      |                        | 実績値   | 241.0 | 314.0 | 295.0 |       |       |    |
|          |      |                        | 達成率   | -     | 116.3 | 98.4  | -     | -     | %  |
| 2        | 指標名  |                        | 目標値   |       |       |       |       |       |    |
|          | 式・定義 |                        | 取組目標値 |       |       |       |       |       |    |
|          |      |                        | 実績値   |       |       |       |       |       |    |
|          |      |                        | 達成率   | -     | -     | -     | -     | -     | %  |

## 3. 事業費

|             | 前年度実績 | 今年度計画 |
|-------------|-------|-------|
| 事業費(b) (千円) | 1,500 | 1,500 |
| うち一般財源 (千円) | 0     | 0     |

## 4. 改善策の実施状況

|                     |                        |
|---------------------|------------------------|
| 前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況 | ②改善策を実施した（実施予定、一部実施含む） |
|---------------------|------------------------|

## 5. 評価時点での現状（客観的事実・データなどに基づいた現状）

○しまね災害福祉広域支援ネットワーク会議を開催し、支援活動の課題の検討や災害支援に関する情報共有を行った。（平成29年7月、平成30年3月）  
 ○県内2か所で福祉専門職登録者専門研修を開催した。（平成30年1月）  
 ※基礎コース～H27：64名、H28：32名、H29：27名（計）123名、スキルアップコース～H28：29名、H29：19名（計）48名  
 ○ネットワーク登録者数は、70事業所295名（平成30年3月末現在、前年度比で19名減（退職などによる））

## 6. 成果があったこと（改善されたこと）

・福祉専門職の登録が進んだ。  
 ・県内2か所で研修を開催し、前年度を下回ったが一定程度の登録者のスキルアップが図れた。

## 7. まだ残っている課題（現状の何をどのように変更する必要があるのか）

### ①困っている「状況」

・登録した福祉専門職も、未だ（災害時対応の）経験がなく、災害活動のスキルが不足しているため、実際に災害が発生した際の対応に不安がある。  
 ・登録者の多くは、活動エリアや活動日数を限定しているため、基礎コース修了者123名の内、エリア不問で5日以上活動可能な人は10名程度と見込まれている。  
 ・県外派遣に向けた構成団体の合意形成が不十分である。

### ②困っている状況が発生している「原因」

・ネットワーク設置（平成27年9月）以降、登録者及び研修の機会が未だ少ない。  
 ・県外派遣に関するルール（指揮命令系統、費用負担等）が不明確である。

### ③原因を解消するための「課題」

・登録者全員が参加できるスキルアップ（研修等）の機会の確保。  
 ・ネットワーク設置要綱・運営要領等の改正を行う。また、国からの正式な通知を待つ。

## 8. 今後の方向性（課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方）

・福祉専門職の登録を促進するとともに、研修等による登録者のレベルアップを図る。  
 ・未だ一人も受講していない施設・事業所に対し、優先的に研修受講を働きかけていく。  
 ・ネットワーク設置要綱・運営要領改正について、各構成団体が承認を行う。